



2020年

みやま

第260号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

本年の標語 『学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院 ～それが平川病院～』

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/> 〔e-mail〕 hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



新年祈禱（令和2年1月14日 八幡神社にて）



令和2年、新年、明けましておめでとうございます

令和になって、初めてのお正月です。何か清々しい気持ちになります。平川病院は、あまり変わっていないようにも思われるかもしれませんが、毎年、少しずつ進歩しています。昨年は、杏林大学の感染症科・呼吸器内科の河合伸教授が副院長として赴任され、内科病棟は急性期病棟並みに入院が増加しました。同じ内科の土井先生も病院周囲の地域包括支援センターを巡回し、地域との連携に力をいれています。精神科急性期病棟は3人の女性医師が活躍し、良い味を出してくれています。でも、東館を担当してくれていた診療部長の伊藤卓先生が、1月から八王子で開業され、非常勤医師になりました。精神的な支柱だった伊藤先生が抜けることは昨年中はたいへん不安でしたが、徐々にこれを受け入れ、残った医師たちの成長にもつながったと思います。頼もしい限りです。今年も、子供から大人までの発達障害への対応、認知症ケアへの更なる挑戦、アルコールばかりでなく薬物、ギャンブル依存への対応、身体合併症への対応、精神疾患を持ったインフルエンザ患者の受け入れ等々、さらに新しい機能を発揮できる病院として発展し続けていこうと思います。どうかご期待ください。



院長 平川 淳一



年頭挨拶 ～今年の抱負～



新年おめでとうございます

2019年は豪雨災害の多い1年で、関東・甲信地方で記録的な大雨になり、各地で甚大な被害をもたらしましたが、幸いなことに当院は多少の雨漏りで大きな事故もなく、新年を迎えることができました。台風の際は翌日の勤務のために病院に泊ってくれた職員もあり、皆さんのお力と感謝しています。

昨年12月の研修で耳にした老子の名言をご紹介します。

「授人以魚 不如授人以漁」（人に授けるに魚を以てするは、人に授けるに漁を以てするにしかず）これは魚をあげる、というのは「一時的」な助けになるが、釣り（漁）教えれば一生食うに困らない。つまり「人が生きるために本当に必要なのは、物ではなく技術である」ということです。物を最初から与えてしまうのでは、考える力が身につきません。「考える力」があれば、他の局面においても工夫を重ねて答えを見出すことができます。なんでもかんでもネットに頼る便利な今の時代は、私達から「考える力」を奪ってしまっているのかもしれない。ですから、小手先やその場しのぎの対策ではなく、本質的で恒久的な手段や、意味・目的を伝えること。大事なものは考え出す・知恵を生み出す「技術」を授けることだということ。ですから、知恵を生み出すという技術を教える人の役割は超・重要です！そんな教育によって新しい力を授けてあげられればいいなと思っています。本年もよろしくお願い致します。



看護部長 酒井 科衛子

新年明けましておめでとうございます

昨年「みやま」には、組織にとって人材育成が最重要であると書きました。

着任当初、新人からベテラン職員まで同じ考課表を使っており、聞くとベテラン職員の方は基本的な事項を問う内容が多いことから力が入らないとの声もありました。その後、レベルに応じた考課表を導入し、更に管理職向け、主任クラス向けの様式も導入しました。シニアになるに従って、課題を発掘する能力、その課題を解決する能力が必要になります。また、基本に忠実な業務を遂行することは、全ての職員共通の重要事項であり、同時に規則やルール、コンプライアンスの遵守も必須であると考えています。各職員のやるべきこと、各部署の課題を明確にしつつ、皆でそれを解決し続けて行くことにより、組織が安定的に発展すると考えています。まだまだ緒についたばかりと考えていますがよろしく申し上げます。



事務部長 前田 一成

明けましておめでとうございます

私ども歯科室におきまして、令和元年一番の出来事と言え、長年使用してきましたレントゲン装置を、フィルムからデジタル化した事です。このことにより、患者様をお待たせする時間が格段に減りました。また、昨年は平川病院に入院中の患者様や徳寿園、ぐらんぱぐらんまに入所しておられる方々以外にも、近隣の方々にたくさんご利用していただきました。心より感謝申し上げます。気が付くと、「歯科の先生！」と声をかけていただくことも増えました。今年は、是非とも名前で呼んでいただけますよう活動して参りたいと存じます。引き続き、歯科室をお気軽にご利用なさって下さい！

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



歯科医師 伊藤 光代

R 2年 新年を迎えて

明けましておめでとうございます。今年も患者様に提供している従来のプログラムは現状維持しつつ、内容については随時見直しを行い長期に入院されている方や短期で退院されていく方、それぞれの目的に合わせたプログラムの提供をして行きます。また、新たな取り組みとしては作業療法室の元喫煙室をリニューアルして小グループのプログラム運営の使用を考えています。そして、季節ごとの恒例行事の開催や東精協の各大会にも参加する予定です。本年もよろしくお願い致します。



作業療法科 科長 阿部 孝之

あけましておめでとうございます。地域生活支援科は昨年外来部門の組織づくりを1つの柱にしてきました。その過程で他の病院の外来部門を調べてみましたが、当然のことながら病院それぞれの方針や成り立ちの中で知恵をしばり、運営していることを改めて感じました。私たちも平川病院の外来部門の役割を、目の前の患者様に必要なことはもちろん、病院内や地域にアンテナをはって考えたいと思います。そのためには、これまでの平川病院の地域支援のあり方は大事にしつつも、柔軟な発想をもてるように力をつけていきたいと考えています。今年もよろしくお願いいたします。



地域生活支援科 科長 石橋 さおり

あけましておめでとうございます。私が入職して今年で18年目になりますが、当時からすると検査科はかなり大きく変わったなと感じています。肝機能・腎機能などの簡易的な血液検査、心電図、脳波検査などの生理検査を中心に実施していましたが、現在では自動分析装置による生化学検査、更には血中薬物濃度測定、緊急Dダイマー測定、生理検査系では超音波検査（腹部・血管・心臓・甲状腺ほか）、内視鏡介助など多彩な検査をしています。昨年は河合先生が杏林大学病院を退官されて平川病院に副院長として来られたことで、新しい検査について、さらには検査項目についてのアドバイスを頂ける点など検査科としては心強い限りです。



人と人が触れ合う医療現場において、患者様に向き合いながら、臨床検査を通じて不安を取り除くように努力してまいります。本年も宜しくお願いいたします。

中央検査科 科長 村田 智

新年あけましておめでとうございます。昨年度は新年の挨拶で『ポリファーマシー』について書かせて頂きました。これは薬剤科として、患者さんが安心して薬を飲むためのサポートをしたいという意志に基づいたものです。この問題については数年単位で取り組みを続けて行く必要がありますが、今年度は新たに発達障害の治療薬についてもさらに勉強して行かねばならないと考えています。一人でも多くの患者さんの病気と向き合えるようになること、そして安心して服薬を続けることが出来るように今年度も取り組みを続けて行きたいと思っております。どうぞ、本年もよろしくお願い致します。



薬剤科 科長 大塚 晃弘

新年あけましておめでとうございます。

新しい時代‘令和’を迎えた昨年は、私たち心理職にとっては新たに‘公認心理師’という国家資格を持って業務にあたることとなった、その最初の年でもありました。…とは言っても実際のところ、少なくとも昨年中においては、何かが目に見えて明らかに変わるということはなく。また私たち自身も、その‘呼び名’に未だ慣れておりませんが、

いずれにせよ資格というのはあくまで身分証明書であり、たとえるならばチーム医療に参画するための‘入場券’とも言えるかもしれません。その先に進んでいく中での自分たちの歩みが、この新たな資格を育てていく…ちょっと大きく出すぎかもしれませんが、そんな気持ちで、2年目となる今年も頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



心理療法科 科長 淵上 奈緒子

明けましておめでとうございます。

昨年は、皆様の声で希望が多かった「温かい食事の提供」が可能となる温冷配膳車の導入を5月に実施いたしました。栄養科としては、皆様により美味しい料理を提供し、治療環境の改善に協力しながら患者様が心身共に健康となれますよう、今年度もスタッフ一同邁進いたします。

今後も、栄養科では感染等の衛生面にも十分配慮を行いながら、食事療養や栄養指導・料理教室及び誤嚥予防対応に力を入れ実施していきます。



栄養科 科長 青木 忍

あけましておめでとうございます

昨年一年を振り返りますと、なんとといっても365日稼働開始が大きな出来事でした。365日稼働については、回復期リハビリテーション病棟を中心にリハビリテーション業界でも療法士の働き方を変える大きな転機となっておりますが、一方、濃厚なリハビリテーションを提供して患者様に医療サービスを届けるという視点で非常に重要であるととらえられています。最近ではICUや急性期でも徐々に広がりつつあります。精神科単科病院で、365日稼働をしているのは、日本でも当院だけかと思っておりますので、一年を振り返りつつ、今後に向けてさらに質を高めていきたいと考えております。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



リハビリテーション科 科長 上 園 紗映

医療相談科は、昨年4月に新人職員が2名入職し、スタッフは9名体制となりました。教育期間を経て今は、業務に携わることができております。

都より受託しております「地域精神科身体合併症救急連携事業」の活動として、南多摩医療圏・西多摩医療圏を併せた「多摩西南ブロック版」精神科ガイドブックが完成し、2020年2月中には医療機関の皆様にお渡しができる予定です。今年も、地域の医療機関のご協力を賜りながら事業を進めてまいりたいと思っております。

今年も患者様・ご家族のよりよい支援につながるように科内一同努力していきます。



医療相談科 科長 荻生 淳希

令和2年 平川病院 標語

当院では毎年、全職員から「標語」を募り、最優秀作に選ばれた標語はその年の病院標語として採用されます。今年の受賞作を紹介します。

優秀賞

学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院
～それが平川病院～

看護部 東5病棟 金井 秀之

人材は平川の柱

栄養科 岡村 雅也

5S活動で働きやすい環境に

経理課 小幡 正

はじまりの道・共に踏み出す医療

作業療法科 小松 沙耶香

医療の本質を見極め地域に繋げる

リハビリテーション科 宮下 泰範

【こころ】 【からだ】 【みらい】 を支える病院

リハビリテーション科 田川 勉

快適職場 心も体も健康に笑顔でいこう その先へ！

看護部 内科病棟 佐伯 美津江



忘年会での標語表彰の様子 【右】左から 院長、岡村さん、小松さん、宮下さん、田川さん

職員インタビュー (Nhân viên Cuộc phỏng vấn)

インターナショナルスタッフ：ヴォ ティ ミー ヒエップさん【ベトナム国籍】
(VO THI MY HIEP)

専門的な介護医療患、特に高齢者医療、今日、日本で人気のある職業であるこの分野で人々の世話と仕事をする方法を学びたいので、日本に来ることを決めました。日本に来たとき、日本語がわからずコミュニケーションが取れなかったので、とても困ってしまいました。そのため、日本語学校で1年、職業訓練専門学校で2年間勉強し、日本語能力を向上させようと努力しました。そして、看護に興味を持ちました。先生や友人から多くの良いことを学べたことを感謝しています。その頃の私は学費を払うために、お金を稼ぐために、もっと多くの仕事をしなければなりません。まわりの人々がアドバイスをくれました。卒業後、平川病院で働き始めましたが、仕事を上手くやり遂げられるように、みんな助けてくれたり、たくさん教えてくれたり、友達もできました。病院で働くことは毎日違う喜びをもたらしてくれます。私はそれに非常に興味があり、何か面白いことを楽しみにしています。私は平川病院でもっと頑張ろうと思います。



【ベトナム語 (Việt)】

NỖ NIỀM

Chuyên ngành điều dưỡng chăm sóc sức khỏe bệnh nhân đặc biệt chăm sóc sức khỏe người cao tuổi. Một ngành nghề phổ biến ở Nhật hiện nay. Tôi muốn học tập cách chăm sóc, làm việc của người Nhật trong ngành nghề này nên tôi quyết định đến Nhật Bản. Với một chút hiểu biết về nước Nhật Bản thông qua báo chí, truyền thông những tưởng sẽ có một cuộc sống đầy tốt đẹp trên đất nước Nhật Bản, nhưng không phải vậy. Khi tôi đến Nhật Bản, cuộc sống của tôi vô cùng khó khăn do tôi không biết tiếng Nhật và không thể giao tiếp được. Vì thế, tôi đã cố gắng cải thiện khả năng tiếng Nhật của mình trong 1 năm ở trường tiếng Nhật và 2 năm học tại trường trung cấp dạy nghề chuyên ngành điều dưỡng làm tôi hứng thú hơn với ngành điều dưỡng. Trong quá trình học tập, tôi đã học hỏi được rất nhiều điều hay từ thầy cô giáo và bạn bè. Tôi rất biết ơn họ vì đã cho tôi những lời khuyên hữu ích. Bên cạnh đó, tôi phải đi làm thêm rất nhiều việc để có tiền đóng học phí, trang trải cuộc sống cũng như dành thời gian để trao dồi thêm tiếng Nhật.

Sau khi tốt nghiệp tôi đã vào làm việc tại bệnh viện Hirakawa. Mọi người đã nhiệt tình giúp đỡ và chỉ dạy cho tôi rất nhiều điều để tôi có hoàn thành tốt công việc của mình. Tôi cũng kết bạn được với một số bạn bè thuộc các quốc gia khác nhau có thể chia sẻ mọi điều khó khăn trong cuộc sống. Mỗi ngày đi làm tại bệnh viện là mỗi ngày có một niềm vui khác nhau. Tôi rất hứng thú với điều đó và trông chờ vào điều gì thú vị sẽ xảy ra với mình. Tôi sẽ cố gắng làm việc hơn nữa tại bệnh viện Hirakawa..

編集後記

2020年オリンピックyearの幕開けです。祖父に前回の東京五輪国立競技場に連れて行かれたとか（記憶はありません）。前回オリンピックを意識してか昨年のNHKは、いだてん、なつ、スカーレットは、戦後の高度成長期・・・昭和が時代背景のようです。ドラマの中で懐かしい場面が・・・月賦でテレビを買った。ガス炊きの炊飯器、石油炊きのお風呂、レコードのA面ではなくB面が好き（娘何それ？）CDなら知っているけど・・・今年度は診療報酬改定の年、浮かっている場合ではありませんが、今年も「みやま」をよろしくお願い致します。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします
kouhou@hhsp1966.jp

